

交通シミュレーション委員会 第4部会 第4回部会 議事録

日時 平成14年10月10日 17:00～19:00
場所 尚友会館 尚友会館7F会議室

出席者 中野 敦 〔財〕計量計画研究所〕
(敬称略) 泉 典宏 〔株〕オリエンタルコンサルタンツ〕
宇陀 正志 〔株〕富士通エフ・アイ・ピー 〔株〕〕
児島 正之 〔株〕千代田コンサルタンツ〕
坂本 邦弘 〔株〕埼玉大学〕
酒匂 智彦 〔株〕鹿島建設 〔株〕〕
笹沼 慶与 〔株〕長大〕
佐藤 光 〔株〕パシフィックコンサルタンツ 〔株〕〕
澤 充隆 〔株〕ドーコン〕
大藤 武彦 〔株〕交通システム研究所〕
滝澤 昇 〔株〕システム21〕
毛利 弘道 〔株〕オリエンタルコンサルタンツ〕
山岸 国夫 〔株〕富士通エフ・アイ・ピー 〔株〕〕
山本 郁淳 〔株〕ドーコン〕
和久井 博 〔株〕社会システム研究所〕

資料 : 第4部会の検討チームについて (部会長)
佐藤×E
澤×E
坂本×E
和久井×E

第4回議事内容

検討チームとリーダー
各テーマの検討内容

1 検討チームとリーダーについて (部会長 委員)

(1) 部会長の説明

第4部会の進め方として5つのテーマ毎に検討チームを決め、部会に議論のたたき台の案を出してもらおう形で進めていきたい。各テーマとリーダーは次のとおりとする。

テーマ1:シミュレーションの適用対象に関する検討 (リーダー:佐藤)
テーマ2:タスクへのシミュレーションの適用対象に関する検討 (リーダー:澤)
テーマ3:シミュレーションの認証に関する検討 (リーダー:大藤)
テーマ4:クリアリングハウスの改善に関する検討 (リーダー:坂本)

テーマ5:行政的課題への対応に関する検討(リーダー 和久井)

2 各テーマの検討内容

(1) 部会長の説明

各テーマ毎に 検討のねらい と想定される検討内容 について説明した。

次に各リーダーが各テーマの内容について説明し、議論した

(2) テーマ2について

リーダー(澤)が概要の説明

シミュレーション適用タスクの内容として、7種類のタスクを設定する。

タスクの意味が不鮮明なので、信号制御とか構造対策、車線付加等、具体的にしたほうがよい。

局所渋滞対策は詳細な施策である。

TDM対策も施策である。

もう一つブレークダウンしたほうがよい。

シミュレーションは施策評価のツールである。

タスクはニーズと考える。

具体化したほうがよい

制御モデル等の周辺モデルが必要。さらに需要モデルも必要。

制御モデルはシミュレーションでやるが、需要は別とするべきではないか。

シミュレーションモデルを適用する場合は、需要の変わる場合もある。例えば需要を半分にしたらOK等。

需要も必要だが、テーマ1の佐藤さんの分担となる。

需要を内生したモデルはない。

出勤者数を半分にしたケースを設定する場合はあるが、半分にする方法は考えない。

第2部会の事例収集を随時並行してもらいたい。シミュレーションモデルのパフォーマンスの一覧表にあたるものとなる。他部会等共通の場で議論したい。

(3) テーマ1(佐藤メモにより説明)について

リーダー(佐藤)が概要説明

シミュレーションが適用できないものを示したい。

例えば、ビジュアルだけなら不適用等とする。

ビジュアルだけでもOKと思う。

解析的に解ける問題は適用しないほうがよいと整理する。

適用できないことをまとめると行政が利用しにくい。

利用方法はテーマ2でやることとしたらどうか。

利用しない場合は具体的にどのようなものがありますか。

飽和度は計算でよい。

待ち行列 3つは計算ではしんどい。

二重否定は良くないので、正攻法でよいのでは。

テーマ 1はテーマ 2の逆ではないか。

タスクのレベルの要求を先行すべきである。

追従モデル等の入っていないモデルは評価できない。

環境問題は加速モデルでないと評価できない。

モデルは何かできるとしないと使えない。第 1 部会での情報をもとに今後さらに考えていく。

(4) テーマ 3 について

リーダー (大藤) が概要説明

過去の議論や他部会の認証に関する議事録を集めて提示する。

どこで、何を、さまざまなパターンがある。

認証しないと正しく利用されないこととなる。

過去の整理したものをもとに討論したい。

(5) テーマ 4 について

リーダー (坂本) が概要説明

現状でホームページにアクセスできない問題がある。

ホームページの立ち上げは一年半先になる。

CHは、それまでにそれなりにになっている必要がある。今年度末からフォローしていかないと進まない。これから提案する。

CHの問題を指摘するまでに運営方法を考える。

今は堀口さんに任せっきりでである。

今後、桑原先生にお願いして考えてもらう

第 2 部会ともども、大気拡散モデル等のような先進的なものをさがしていく。

第 2 部会からもどんなものをどうやって集めるか聞く。

(6) テーマ 5 について

リーダー (和久井) が概要説明。

行政で利用しているマニュアルがあったらメールでください。

行政データを公開してほしい。

・感知機データ

・信号データ

長野県警の信号データを借用したい時に、内容が不明で利用できなかったことがある。

この委員会名で利用できる行政データを集めたい。

N P調査の代わりに自動車に発信機をつけてもらう方法もある。
プローブカーのデータや VICS のデータがある
セミナーは後半でよい。
大規模開発のデータは提供できる。

(7) 各委員の分担等

各リーダーは各委員に依頼してもらってもよい。
委員にも希望を出してもらう。
アイデアのある委員は申し出ってもらう。
この部会の委員は新しく追加参加しても良い。

3 次回

次回は 11 月 20 日前後とし、時間は 17:00 ~ 19:00 とする。日程は後日調整する。
次回の資料は各テーマ毎にとりまとめたものを出してもらう。